

神海丸専攻科通信 第2号

甲板部、機関部の作業

漁場に着くまでの間、船舶職員を目指す専攻科生達は甲板部、機関部に分かれ、それぞれ専門知識の勉強を行います。甲板部では天測や航法等、機関部では配管調べや機関の発停方法等について課題や授業を行っています。また、専攻科生の中には、空いている時間に自習(海技試験の勉強)をする生徒もあり、次の定期試験に合格するために頑張っています。



操業前事前指導

9月23日(土)操業2日前となり、船員さん達から事前指導が行われました。専攻科生にとって2度目となるマグロ延縄実習です。自分達が本科生の時に行った作業を1つ1つ思い出しながら、真剣に船員さん達の説明を聞いていました。



祝 初縄

9月25日(月)午前5時00分より操業が開始しました。まずは、投縄作業班が仕掛け(ブラン)の針に餌を取り付け海に投げる作業を9時頃まで行います。その後14:00から24:00頃まで、仕掛けたブランを揚げる作業を船員、教官、実習生が交代で作業につきます。



獲れたマグロの刺身が夕食に出ました。実習生達はおいしそうに食べていました。